

第2時／全2時

「がん」について考える



JA岐阜厚生連

中濃厚生病院

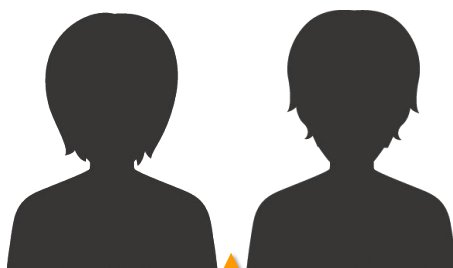
がん相談支援センター

長谷川 典子 先生

長谷川先生に様々な話をしていただきながらみんなと一緒に考えていきましょう。

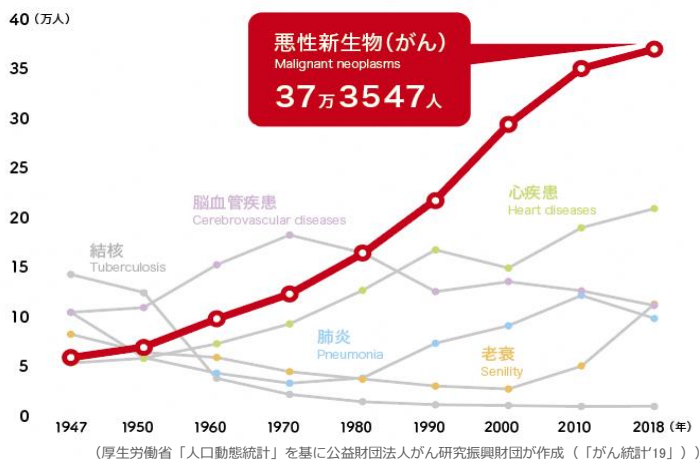
では、まず前時の復習をしましょう。

前時の復習：がんになる人の割合



2人に1人

前時の復習：がんによる死亡数



3人に1人ががんで亡くなっている

がんによる死亡数は増え続けている

前時の復習：主ながんの原因

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事(野菜不足、脂肪のとりすぎなど)・運動不足など

細菌・
ウイルス

生活習慣

遺伝的
原因

生活習慣は自分で
気をつけることができる



どのような生活を送ればよいのだろう

お酒を飲みすぎない

適正体重の維持

たばこを吸わない

バランスのよい食事

適度な運動

望ましい生活習慣によりがんになるリスクを減らすことができる

出典：国立がん研究センター社会と健康研究センター予防研究グループ 科学的根拠に基づく発がん性・がん予防効果の評価とがん予防ガイドライン提言に関する研究を基に国立がん研究センターがん情報サービスが作成

前時の復習：がんの治療法

治療法は主に三つ

手術療法

放射線療法

化学療法
(抗がん剤などの薬)

- がんの種類や状態などにより選ぶ。
- いくつかの治療法を組み合わせることもある。

年齢別がんになる人の割合

年齢階級別罹患率
[全部位 2017年]

人口10万人対



(厚生労働省「人口動態統計」より国立がん研究センターがん情報サービスが作成(「がん登録・統計」))

50才前後からがんになる人が増える

1

Q : みんなに質問です

身近な人（親・祖父母など）が
「がん」と診断されました。
あなたはどう声をかけますか。

**どう行動するのか。どう声をかけるのか。
(事前アンケートより)**

- ・大丈夫だよ、治療法も3つあるよ
- ・大丈夫？・相談のるよ
- ・一緒に頑張ろう
- ・なにかあったら言ってね
- ・どうすればいいか分からないなど

本時の課題

**身近な人が「がん」になった
とき、自分ができることは何
かを考えよう。**

がんの症状や薬の副作用について

- ・がんの症状
頭痛、物が見にくい、口に違和感がある、
- ・治療の影響
 - ～化学療法（抗がん剤治療）～
気持ちが悪い、抵抗力の低下、体に皮疹が出る、髪の毛が抜ける、食欲がなくなる、下痢が起こる
 - ～放射線治療～
骨が折れやすくなる、患部の皮膚の色が変化、髪の毛が抜ける
 - ～手術療法～
手術の部位によって異なる、無くなった臓器は戻らない

**Q1:身近な人が（親・祖父母など）
「がん」と診断されました。
あなたはどのように思いますか。
どう声をかけますか。
何ができますか。**

自分で考えてみよう

**近くの人と
意見交換をしましょう**

「命」

可児市の少年の主張大会で中部中学校の代表として発表してくれた作品です。

講師の先生の話

**今一度、自分ができるとは
何があるのか
何をすべきなのか
を考えましょう。**

意見を聞かせてください